

縄文時代の人々の生活について博物館で展示します

考古企画展として「変化の時代を生きた縄文人 相模原市域の縄文時代中・後期文化」を開催いたします。市内の縄文文化が栄えたおよそ 4,000～5,000 年前は人口の急激な増加と減少が起こった変化の時代でした。当時の土器、石器、集落の様子などを紹介し、時代が変化する中で力強く生きた縄文人の姿を探ります。

期 間：令和3年4月1日（木）～令和3年5月9日（日）

開館時間：午前9時30分～午後5時

休 館 日：毎週月曜日（祝日を除く。）、4/30、5/6

場 所：相模原市立博物館 特別展示室 **観覧無料**



市内勝坂遺跡から出土した縄文土器



縄文時代に使われた石器と材料となった黒曜石



市内出土の祭祀の道具である石棒



市内出土の土偶

詳しくは、別添チラシをご覧ください。

問い合わせ先
相模原市立博物館
担当者 長澤・河本
Tel：042-750-8030

考古企画展

時代を
生きた

変化

の

縄文人

相模原市域の
縄文時代中・後期文化

2021

4/1(木) - 5/9(日)



川尻遺跡出土の縄文中期の土器
(神奈川県教育委員会所蔵)



畑久保西遺跡出土の縄文後期の土器
(神奈川県教育委員会所蔵)



川尻中村遺跡 (神奈川県教育委員会提供)



田名塩田・西山遺跡

観覧無料

時間：午前9時30分から午後5時まで

休館日：毎週月曜日(ただし祝日は除く)

月曜以外の休館日は4/30、5/6

会場：相模原市立博物館特別展示室



相模原市立博物館

SAGAMIHARA CITY MUSEUM

〒252-0221 神奈川県相模原市中央区高根3-1-15

TEL:042-750-8030/FAX:042-750-8061

<https://sagamiharacitymuseum.jp/>



相模原市立博物館HP

変化の時代を生きた



縄文人



相模原市域の縄文時代中・後期文化

左：川尻中村遺跡出土の土偶（神奈川県教育委員会所蔵）
右：県営三ヶ木団地内遺跡出土の土偶（神奈川県教育委員会所蔵）

相模原市の縄文人は

どのような生活をしていたのでしょうか。

市内の縄文時代遺跡は、約5000年前の縄文時代中期と約4000年前の後期に多く残されました。本企画展では、当時の土器、石器、集落の様子などから、縄文時代中期と後期の文化を紹介し、時代が変化する中で力強く生きた縄文人の姿を探ります。縄文人の生活とその工夫をぜひご覧ください。

1 展示構成



相模原市立博物館キャラクター
おびのっち

2 はじめに 市域の 縄文時代通史

左：川尻遺跡出土の縄文中期の土器（神奈川県教育委員会所蔵）
右：畑久保西遺跡出土の縄文後期の土器（神奈川県教育委員会所蔵）

3 1 変化する 集落の姿



4 2 環境と 資源の獲得



かさかいかせきあるかやとちてん
勝坂遺跡有鹿谷地点出土の
植物種実（当館所蔵）

5 3 墓から探る 社会の変化



橋本遺跡の墓穴

6 4 ネットワーク化 した社会



北原（No.9）遺跡出土の土器と
黒曜石（神奈川県教育委員会所蔵）

7 5 豊かな恵みを 願って



畑久保西遺跡の打製石斧出土状
況（神奈川県教育委員会所蔵）

8 おわりに 変化の時代を 生きた縄文人

博物館考古 情報コーナー

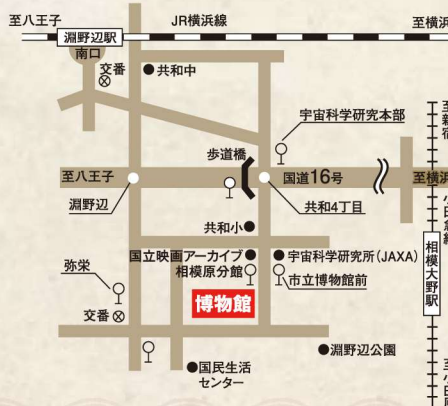
津久井城跡の市民協働調査の成果などを展示します。

4月10日より、博物館ホームページ ネットで楽しむ博物館にて、展示解説動画を公開します。



感染拡大予防に ご協力ください

- 発熱や体調不良時のご利用はご遠慮ください。
- マスクを必ず着用してください。
- 咳エチケット、手洗い、手指消毒にご協力ください。
- 密集状態を避けるために、人数制限を行う場合があります。



交通のご案内

- ▶ 淵野辺駅南口から→徒歩20分●バス青葉循環博物館廻り（淵37系統）「市立博物館前」下車すぐ●バス青葉循環共和廻り（淵36系統）「市立博物館前」下車すぐ ▶ 相模大野駅北口から→●バス相模原駅南口行き（相02系統）「宇宙科学研究本部」下車5分
- ▶ 相模原駅南口から→●バス相模大野駅北口行き（相02系統）「宇宙科学研究本部」下車5分 ▶ 上溝駅から→●バス淵野辺駅南口行き（淵52・53・59系統）「弥栄」下車8分
- ▶ お車でお越しの場合→無料駐車場95台